

令和8年度



いばらき農業アカデミー

IBARAKI AGRICULTURAL ACADEMY

学びたいこと、**学**べます
伸ばしたいこと、**伸**ばせます



経営感覚に優れた意欲ある農業人の
育成を目指し、多彩な講座で皆様を
サポートします。



 茨城県

茨ひより (茨城県公認 VTuber)

いばらき農業アカデミーとは

農業に関する学びの場

茨城県では、農業の技術向上や経営発展に意欲のある方、農業を始めて間もない方、将来就農を目指す方など幅広い方を対象に、大学や研究機関、民間企業など産学官の連携によって総合的な学びの場を提供する「いばらき農業アカデミー」を平成29年度から開設しています。

いばらき農業アカデミーの講座は、

経営高度化講座群：「経営者マインド」の向上に必要なノウハウを習得するための講座

生産技術講座群：先進農業技術や畜産、土壌、病害虫、農業機械、食品衛生などの講座

特別講座群：既定講座のほか、制度や幅広い知識を補強する講座

の3つから構成されており、本年度は29講座の中から、受講者が目的に応じて自由に選択することができます。

講師は、第一線の研究者や実務専門家が務めており、座学だけでなく、演習や実習を伴うものなど、実用性を重視して内容の充実を図っています。

講座は、笠間市にある農業総合センターをメイン会場として開催します。また、講座によっては県立農業大学校や各農林事務所、農業改良普及センターなどでも開催し、オンライン配信によりご自宅等で受講できる講座も開設します。



茨城県農業経営マイスター

認定条件を満たした受講生は、経営力の向上や経営の高度化を進めるために必要な知識を取得した称号『茨城県農業経営マイスター』に認定します。

知事
認定

認定要件

- 1 明確なビジョンと目標を実現するプランを持ち、農業経営の発展に高い意欲を有している方。
- 2 いばらき農業アカデミー講座のうち、必須講座を3年以内に受講した方。

令和8年度の必須講座は、次の講座です。

講座番号1 ヤングファーマーズ・ミーティング
講座番号3 リーダー農業経営者育成講座

※令和6年度に実施した「女性農業経営者育成講座」は、「リーダー農業経営者育成講座」と同等の必須講座として扱います。

- 3 必須講座に加えて、3年以内に選択講座を2講座以上受講し、それぞれの講座の3分の2以上出席した方。ただし、同じ講座を複数回受講した場合は、1講座としてカウントします。

令和8年度の実選講座は、次の講座です。

講座番号5 農業簿記講座
講座番号6 農業経営改善セミナー
講座番号7 農業人材育成指導者養成講座
講座番号8 アグリビジネス講座
講座番号9 SNSを活用した販路拡大講座





令和8年度 いばらき農業アカデミー講座のご案内



分類	番号	講座名	受講形式				開催時期	回数(期)	主な会場 開催方法	定員(名)	受講経費	受講の目安			
			連続	講義	演習	実習						就農前・ 学生等	就農後		
													初心者	中堅	熟練
経営高度化講座群	1	ヤングファーマーズ・ミーティング		○			7月	1	ザ・ヒロサワ・シティ会館	150	無料	○	○	○	○
	2	経営スタートアップ講座	○	○	○		7~2月	10	県農業総合センター	20	無料	○	○		
	3	リーダー-農業経営者育成講座	○	○	○		7~2月	10	県農業総合センター	20	無料 一部講座受講料			○	○
	4	農業経営革新講座		○	○		10~2月	6	県農業総合センター	各回異なる	無料			○	○
	5	農業簿記講座	○	○	○		10~12月	5	県農業総合センター オンライン	30	テキスト代	○	○		
	6	農業経営改善セミナー		○			7~2月	3	オンライン	各回50	無料		○	○	○
	7	農業人材育成指導者養成講座		○			12月~2月	2	県農業総合センター	各回15	無料			○	○
	8	アグリビジネス講座	○	○	○		9~11月	5	県農業総合センター	20	無料		○	○	○
	9	SNSを活用した販路拡大講座	○	○	○		9月	2	県農業総合センター	20	無料		○	○	○
生産技術講座群	10	いばらき営農塾(野菜入門A)	○	○		○	5~9月	29	日本農業実践学園 オンライン	講義・実習 20 講義のみ 10	受講料・ テキスト代等	○	○		
	11	いばらき営農塾(野菜入門B)	○	○		○	9~2月	29	日本農業実践学園 オンライン	講義・実習 20 講義のみ 10	受講料・ テキスト代等	○	○		
	12	いばらき営農塾 (フォローアップコース)	○			○	6~1月	20	日本農業実践学園	10	受講料・ 傷害保険料等		○		
	13	生産環境管理(土壌)講座		○			9~11月	2	県農業総合センター 農研機構	各回20	無料		○	○	
	14	生産環境管理 (病害虫・植物保護)講座		○			11~12月	2	県農業総合センター	各回20	無料	○	○	○	○
	15	有機農業講座		○			未定	1	県内ほ場 他	50	無料	○	○	○	○
	16	品目別先進農業技術講座		○			5~12月	7	県農業総合センター 他	各回異なる	無料			○	○
	17	6次産業化入門講座	○	○		○	6、1月	3	県農産加工 指導センター	15	無料		○		
	18	農産加工実践講座		○		○	7、8、12 月	3	県農産加工 指導センター	各回15	無料			○	○
	19	農業生産工程管理(GAP)講座	○	○			7月	1	県農業総合センター オンライン	50	無料	○	○	○	○
	20	農業機械基礎研修		○		○	1月	4	農業大学校	各回10	受講料・ 傷害保険料		○		
	21	農業機械士技能認定研修	○	○		○	10月	1	農業大学校	15	受講料・ テキスト代等		○	○	
	22	農作業安全・大型特殊免許 (農耕用)等取得研修	○	○		○	5~3月	10 (3)	農業大学校	各回25	受講料・ 試験手数料等	○	○	○	○
	23	スマート農業講座		○			7~1月	3	県農業総合センター 他	各回20	無料		○	○	○
	24	農業気象講座		○			11~12月	3	県農業総合センター	各回20	無料	○	○	○	○
	25	新規繁殖和牛経営入門講座	○	○		○	7~10月	5	肉用牛研究所 他	10	無料	○	○		
	26	豚人工授精実習会		○		○	10月	1	畜産センター	10	無料		○	○	
	特別講座群	27	鳥獣被害対策講座		○		○	7~2月	8	県内各地	各回50	無料	○	○	○
28		農村地域活性化人材育成講座 New	○	○	○	○	9~3月	7	水戸市内	20名	無料	○	○	○	○
29		関連セミナー		○			未定	未定	未定	未定	未定				

令和8年度は、29の講座の開設を予定しています。各講座の詳細は、いばらき農業アカデミーホームページの講座紹介をご覧ください。
 ※講座の受講形式、開催時期及び会場は変更になる場合があります。

経営高度化講座群【全9講座】

1 ヤングファーマーズ・ミーティング



経営改善に意欲のある若い農業者を対象に経営革新や挑戦し続ける「経営者マインド」を醸成するため、基調講演及び分科会を通して、先進的で成長性の高い経営者の意識と行動を学びます。

2 経営スタートアップ講座



就農直後から着実に経営を展開できる農業経営者を育成するため、経営管理に必要な知識や営農ビジョンを具体化するための事業計画作成手法の習得を図ります。

3 リーダー農業経営者育成講座



実践的かつ最先端の経営者育成カリキュラムのもと、経営者としての視点、心構え、事業戦略の考え方について、講義とグループワークを通して学びます。

4 農業経営革新講座



国内先進農業経営者による講義、ディスカッション、個別相談等を通して、自らの経営の発展段階を見直し、効果的なPDCAサイクルを回し、ハイレベルな農業経営者を目指します。

5 農業簿記講座



複式簿記の基礎を理解するとともに、簿記ソフトを使った記帳方法を体験します。

6 農業経営改善セミナー

農業経営の持続的な発展のため、事業継承時に発生する問題、経営の規模拡大や多角化にあたってのリスク、経営を支える人材の採用と育成の課題などについて、事例などを通じて、経営の現状と課題をとらえ改善していく意識を高めます。

7 農業人材育成指導者養成講座



外部の人材を採用している農業法人等（これから採用予定も含む）の労務管理や従業員採用に関する基礎知識の取得を目指します。

8 アグリビジネス講座



6次産業化に取り組むうえで課題解決や経営・商談・販売に向けたノウハウの習得、事業計画の作成方法の習得及び作成した事業計画のブラッシュアップを図ります。

9 SNSを活用した販路拡大講座



農産物や農産加工品の販路拡大に取り組み、経営の発展を目指す農業者を対象に、販路の拡大に有効なSNSの活用方法を習得します。



オンライン講座

講座によってオンラインで開催する講座があります。オンライン講座は、オンラインコミュニケーションツールの『Webex』や『Zoom』等を使い、ご自宅などで受講する講座です。

受講する際は、①インターネットに接続可能なパソコン、スマートフォン、タブレット端末等、②Webカメラ（パソコン内蔵カメラも可）が必要となります。

※必要に応じて、ヘッドホンセットまたはマイク付きイヤホンをご準備ください。オンラインにより開催する場合には、ホームページの各講座紹介に掲載しますので、ご確認ください。

生産技術講座群【全17講座】

10 いばらき営農塾（野菜入門A）



作物の生理・生態や栽培方法などの講義、春夏野菜の栽培管理などの実習を通して、基礎的な農業技術を学びます。

11 いばらき営農塾（野菜入門B）



作物の生理・生態や栽培方法などの講義、秋冬野菜の栽培管理などの実習を通して、基礎的な農業技術を学びます。

12 いばらき営農塾（フォローアップコース）



農業経営を開始した「いばらき営農塾」の受講者を対象に、栽培技術向上のための実習を開催することで、受講者の農業経営確立を支援します。

13 生産環境管理（土壌）講座



農作物の生産性や品質を上げて収益を向上させるため、農地の土壌特性や作物の生育特性に適した合理的で効率的な施肥や環境にやさしい生産に必要な土づくりの基本について学びます。

14 生産環境管理（病害虫・植物保護）講座



農作物の病害虫による被害の発生を防ぎ、作物の生産を安定させるため、各作物に特有の病害診断技術を習得するとともに、診断に基づく適切な防除方法を学びます。

15 有機農業講座



有機農業を実践し、先進的に取り組んでいる経営体を講師とすることにより、有機農業についての栽培技術や経営等に関する知見を得ます。

16 品目別先進農業技術講座



普通作、野菜、果樹、花きの最新栽培技術や有望品種について学びます。併せて、ICTやロボット技術の活用について学び、経営の効率化や生産性向上につなげます。

17 6次産業化入門講座



県内農産物を使った6次産業化活動に必要な知識・技術の習得と、加工品製造に必要な衛生管理の基本や基本技術の習得を図ります。

18 農産加工実践講座



農産加工品の商品開発・改良等に活かすため、農産加工の手法と専門的な知識・技術を習得し、6次化に取り組む農業者のステップアップを図ります。

19 農業生産工程管理（GAP）講座



GAPは農業工程を管理し継続的改善を図る取組で、SDGsの観点から認証取得の需要も拡大。本セミナーではGAPの必要性やメリット、認証取得手続きなどを紹介します。

20 農業機械基礎研修



農作業の安全、乗用トラクタの仕業点検や基本的な運転操作、ロータリ耕の基本操作等について、講義や実習を通して学びます。

21 農業機械士技能認定研修



農業機械の構造や機能、取り扱い等を学ぶとともに、ロータリ耕、作業機着脱、トラクタの点検整備、工具の使用方法等を習得し、農業機械士の資格取得を目指します。

22 農作業安全・大型特殊免許(農耕用)等取得研修



トラクタの構造・機能と保守点検方法を学ぶとともに、基本操作と安全運転技術を習得し、大型特殊免許またはけん引免許(いずれも農耕用限定)の取得を目指します。

23 スマート農業講座



スマート農業活用に意欲的な経営体に向けて、経営・栽培データの管理、環境制御、自動運転・作業軽減、センシング・モニタリングに分類して、農業経営ごとの課題解決を目指します。

24 農業気象講座



気象に起因する農業災害の防止、軽減、生産性の向上を目的とし、農業において気象情報を利用する手法や気温予測データの活用方法について学びます。

25 新規繁殖和牛経営入門講座



基礎講座で牛の飼育管理など基礎的な知識を学ぶとともに、繁殖和牛経営農家での体験実習と交流を深め、地域とのつながりを作ることで、繁殖和牛経営の開始や経営技術の向上を目指します。

26 豚人工授精実習会



本県養豚経営における人工授精の活用促進と技術の向上を図ります。



特別講座群【全3講座】

27 鳥獣被害対策講座



野生鳥獣による農作物被害対策を現場で実施していく上で必要となる、各獣種の被害対策に関する基礎知識や実践的な対策手法を学びます。

28 農村地域活性化人材育成講座



農を起点として多角的な視野と経営感覚を持って地域を牽引する人材を育成するための講座を実施するとともに、講座を通じて受講者が作成する事業計画の実現に向けた取組を支援します。

29 関連セミナー

既定講座のほかに、生産技術の向上や農業経営の発展に役立てていただくため、県や関係機関団体等が主催する各種セミナー、勉強会、研修会などをご案内します。また、国が進める新たな施策や制度、生産現場における先駆的な取り組み事例を紹介し、これからの農業経営に役立つ情報を提供します。



お申し込み方法のご案内

FAX、インターネット、メールでお申し込みを受け付けています。講座によって申込方法が異なりますので、いばらき農業アカデミーのホームページの「講座のご紹介」よりご確認ください。いばらき農業アカデミー事務局(TEL 0299-45-8321)までお問い合わせください。

各講座の受講例

より効果的に学んでいただくため、目的別（パターン1～3）に、各講座を受講する時期と順番の例をご紹介します。受講計画の参考としてご活用ください。

パターン1

経営力を向上させたい

就農前後

1 ヤングファーマーズ・ミーティング

2 経営スタートアップ講座

経営発展

3 リーダー農業経営者育成講座

4 農業経営革新講座

パターン2

6次化に取り組みたい

基礎

17 6次産業化入門講座

8 アグリビジネス講座【事業計画作成等】

発展

19 農産加工実践講座【加工手法の習得等】

パターン3

栽培技術等を学びたい

就農前後

10 11 いばらき営農塾

23 スマート農業講座

就農後

19 農業生産工程管理(GAP)講座

16 品目別先進農業技術講座

24 農業気象講座

※上記内容は一例です。必要な講座を自由に受講いただけます。

※講座の内容は、一部変更となる可能性があります。

アカデミー受講生の活躍について

田村きのこ園

田村きのこ園は、「食べ物美味しくなければいけない」という理念のもと、先代・田村仁久郎氏が60年以上にわたり椎茸栽培と味の研究を続けてきた生産者です。2022年に川島拓氏が事業を継承し、現在は約15,000個の菌床から年間約12tの椎茸を生産しています。長年の探究から誕生したブランド「福王しいたけ」は、“福が来てほしい”との願いが込められており、その最高峰として商品化された『仁久郎』は、味と価値が高く評価され、メディア掲載やいばらきデザインセレクション2025の選定を受けています。



川島 拓さん (笠間市)

講座体験談

リーダー農業経営者育成講座では、多様なゲスト講師から事業への想いやビジネスモデルを学び、自身の経営を見つめ直す機会を得ました。その学びを生かし、当園の最高品質の椎茸を『福王しいたけ「仁久郎」』として商品化しました。先代の想いと、講座で得たマーケティング・ブランディングの知識を融合させたフラッグシップ商品で、2年連続即完売を達成することができました。同期の修了生とは、講座終了後も互いの農園を訪問し合うなど、継続的な交流があります。情報交換を行いながら、それぞれの将来ビジョンを語り合える、大切な仲間です。今後は目先の経営改善だけでなく、講座を通じて見えてきた長期ビジョンを見据えて、逆算的に考えて行動していきたいと考えています。

株式会社 苅部農園

株式会社苅部農園は、約33haで水稲とトウモロコシを栽培し、特別栽培米「夢ごこち」は安心・安全にこだわった良質米として高い評価を得ています。オンラインストアで「夢ごこち」やトウモロコシの販売を行うほか、トウモロコシは下妻市のふるさと納税返礼品としても採用されています。SNSによる情報発信を積極的におこない、インスタグラムでは1.3万人のフォロワーを獲得するなど、販路拡大に取り組んでいます。



苅部 静希さん (下妻市)
夫の優太さん

講座体験談

女性農業経営者育成講座では、経営を数字で捉える習慣や、目標を具体的に言語化し期限を設ける重要性を学びました。ひとりで抱え込まず外に出て学んだことで多くの気づき生まれ、受講後は2合米の商品化や営業強化のためのリーフレット作成、SNS発信の拡充など、直販につながる取り組みを実践しました。講座を通じて「手伝い」ではなく「経営の一部を担う存在」と自覚でき、受講者同士の横のつながりも大きな励みとなりました。さらに講座受講を通して視野が広がったことで自分の意見を持てるようになり、夫婦で経営について話し合う時間が増えました。家族経営の強みを再認識し、農業経営に前向きに取り組む姿勢が生まれました。



いばらき農業アカデミー

IBARAKI AGRICULTURAL ACADEMY

よくある質問



茨城県外に在住していますが、受講することはできますか？



県内の意欲ある農業者の方を対象としていますが、県内で就農される方、または就農予定の方は受講可能です。



講座の受講料はかかりますか？



基本的には受講料は無料です。ただし、テキスト代など実費負担をお願いしている講座もあります。各講座紹介ページの中でご説明しておりますので、「講座のご紹介」よりご確認ください。

※よく質問されることについて、ホームページに掲載しています。
掲載されたものの他に質問等がございましたら、事務局までお問い合わせください。

◆ アカデミーに関するお問合せはこちら ◆

いばらき農業アカデミー事務局

〒319-0292 茨城県笠間市安居3165-1
茨城県農業総合センター企画調整課内
Tel : 0299-45-8321 Fax : 0299-45-8350
<https://www.agriacademy.pref.ibaraki.jp>



H P



Facebook

◆ 農業全般に関するお問合せはこちら ◆

地域農業改良普及センター 一覧

名 称	電 話 番 号	管 轄 地 域
常陸太田地域農業改良普及センター	0294-80-3340	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市
常陸大宮地域農業改良普及センター	0295-53-0116	常陸大宮市、大子町
水戸地域農業改良普及センター	029-227-1521	水戸市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村
笠間地域農業改良普及センター	0296-72-0701	笠間市、城里町
鉾田地域農業改良普及センター	0291-33-6192	鹿嶋市、神栖市、鉾田市
行方地域農業改良普及センター	0299-72-0256	潮来市、行方市
土浦地域農業改良普及センター	029-822-7242	土浦市、石岡市、かすみがうら市
稲敷地域農業改良普及センター	029-892-2934	龍ヶ崎市、牛久市、稲敷市、美浦村、阿見町、河内町
つくば地域農業改良普及センター	029-836-1109	取手市、つくば市、守谷市、つくばみらい市、利根町
筑西地域農業改良普及センター	0296-24-9206	下妻市、筑西市、桜川市
結城地域農業改良普及センター	0296-48-0184	結城市、常総市、八千代町
坂東地域農業改良普及センター	0297-34-2134	古河市、坂東市、五霞町、境町

※ 令和8年5月現在の情報です。状況に応じて変更になる場合があります。変更内容等はホームページ等でご確認ください。